



JST だより vol.2

JST 支援者限定配信！

バイオン中学校が功労賞を受賞しました！



チヨム・ルー校長と、チア・ノル理事長

この度、バイオン中学校では、学校の運営・管理の実績と、地域住民及び海外からの支援者と良好関係を築いてきたこれまでの成果が認められ、カンボジア王国教育大臣より、功労賞を受賞いたしました！この賞は、シェムリアップ州の小中高等学校の中から10校だけに与えられたものです。シェムリアップ州からは、かねてよりバイオン中学校の発展が認められておりましたが、カンボジア政府からというのは、今回が初めての事です。目標としている「モデル校への認定」実現への大きな一歩となったのではないのでしょうか。

この賞を励みに、これからも子供たち、地域に愛される学校づくりに尽力してまいりますので、今後とも、ご支援ご協力のほど、よろしくお願いします！

運動会を終えて 1年生代表 ロンパイ

初めての運動会は、とても楽しい思い出となりました。特に、両親が見に来てくれたことが嬉しかったです。私は赤チームのメンバーとして、ボール運び(板の上にボールを乗せて4人で運ぶ競技)に参加しました。本番まで、毎週日曜日に皆で学校に集まって、一生懸命練習を重ねてきました。その結果、本番で私たちのチームは、この競技で1位を取ることができました。総合結果は、赤チームは2位でした。実は、本番前に2回、予行練習があったのですが、その時はいつも赤チームは1位だったんです。しかし、決して悔しい、残念だという気持ちはありません。とにかく楽しかった、来年もまた、頑張りたいという気持ちでいっぱいです！



運動会の次は文化祭!?

皆さんもぜひ一緒に参加しませんか？

運動会も一息つきほっとしていたところに、なんと次は文化祭が行われるとの噂が！さっそく、校長先生に真相を確かめてみると、「はい、5月26日(土)に行います。」とのこと！2016年の研修で、日本の学校の文化祭に参加した際に、バイオン中学校でも文化を継承するための学校行事を行いたいという思いに至ったそうです。実行には、先生や生徒だけでなく、保護者や村人の協力も必要となるので、大変だが、頑張りたいと意気込んでいました。

ということで、今回は具体的な校長先生の構想をメルマガ先行情報としてご紹介します！

伝統道具 展示

伝統的な漁業・農業道具や、楽器、生活道具等を展示します。これから、生徒だけでなく村人にも協力してもらい、道具を集めていく予定です。

物産 販売

屋台で各村の食べ物を売ったり、フリーマーケットで手作りを売ったりします。その過程で、いくらで販売するかといった計算や、展示の仕方を勉強することができます。またメンバーで協力する大切さも学べます。さらに、屋台の食べ物の容器には、プラスチックではなく、バナナの葉や蓮の葉を使用し、環境への理解を深めるきっかけにもしたいと考えています。

信仰 紹介

この辺りの地域では、今も土着信仰が根強く残っています。信仰は各村で少しずつ異なっているのですが、今回各村の儀式や修行を披露することで、相互理解を図ろうと考えています。また、若い人は特に、意味を理解しないままにお寺に行き、儀式に参加するという人も多いので、これを機に、各儀式や修行にどのような意味があるのかを、改めて知ってもらいたいとも考えています。

✓ 新たに井戸と水浄化システム及び手/足洗い場が完成しました!

東京新橋ロータリークラブ様からの寄贈で、自転車置き場の近くに、井戸と水浄化システム及び手/足洗い場が設置されました。ロータリークラブの皆様、ありがとうございました。

実は、この場所に将来、学校ツアー(学泊)のお客様が宿泊まりできる宿泊施設や、少なくとも1学年が入る多目的ホールを設立したいという声が上がっています。もし実現すれば、特別授業の際に、たくさんの生徒が参加することができたり、保護者会議を一度で行うことで、先生方の負担を減らすことができます。また、施設を利用して文化交流・学習機会がより盛んとなり、さらに活気あふれる学校になることが期待されています。



✓ 水栓数手洗い 4つ
足洗い 4つ

✓ 遺跡修復展示コーナーができました!

カンボジアのアイデンティティーであり、かつ象徴である、世界遺産アンコール遺跡群。

紛争による影響で遺跡が危険な状態となり、人材不足も深刻であったために、多くの国際チームの参加によって修復保存作業が行われてきていますが、将来的には、カンボジア人自らの手で遺跡を守っていく必要があります。そして、未来の担い手として期待されているのは、遺跡のすぐそばに住む子供たちです。しかしながら、多くの子供たちは遺跡に行ったことすらない、遺跡について、修復保存活動についてほとんど知る機会がないというのが現状です。こうした背景から、JST は JASA(日本国政府アンコール遺跡救済チーム)の協力のもと、バイオン中学校の生徒が遺跡や修復作業について関心を持ち、理解を深めるきっかけとなるよう、展示コーナーを作りました。遺跡に関する教育にも、今後は力を入れていきたいと考えています。



● JASA 修復活動の紹介パネル

南校舎の中央ギャラリーに、遺跡修復活動について紹介するパネルが設置されました。JASA の遺跡修復活動のポリシー、修復に携わったアンコール・ワット北経蔵、王宮前広場のプラサート・スープラ塔、バイオン寺院等における具体的な作業内容、発掘調査で出土された陶磁器について等、幅広く紹介しています。



● 古代石材組積のレプリカ

当時の人々はいったいどのようにして、重たい石を運んだり持ち上げたりしていたのでしょうか。その答えは、バイオン寺院の第二回廊の壁に描かれています。バイオン寺院建設の場面を表したレリーフの中には、石材を吊り上げたり、移動させたり、石同士をすり合わせて表面を滑らかにする作業の様子も描かれています。その彫刻を基に、当時の石材組積に使われた道具を再現したものが、バイオン中学校の中庭にも設置されました。遺跡に使われている石材の多くには穴が開けられているのですが、その穴に木を差し込み、水をかけて膨張させることで固定させ、この原理を使って運搬や組積を行ったのです。先人たちの知恵を体験できる貴重な展示コーナーです。



バイオン寺院レリーフより



バイオン中学校 1 年生 身体測定 / 健康診断



日本では当たり前の学校健康診断。一年に一回、身長や体重、心音、聴覚などと数多くの検診がありますが、カンボジアにはほとんどありません。では、もし先生が目の悪い子を把握せずに、席を後ろに配置したらどうでしょうか。健康状態が優れない子に体育の運動をさせたらどうでしょうか。そうしたことを防ぐために学校での健康診断は必要です。そこでバイオン中学校では支援者の方々の力を借りて、今年度から一年生の体重・身長・視力の検査を開始しました。(これらの測定に必要な器具は一宮中央ロータリークラブの皆様から寄付していただき、測定には NPO 法人オアシスの方々にご協力を賜りました。)

以下は一年生の性別ごと(図-1; 男子、図-2; 女子)の年齢人数分布と検査項目の平均、最大値、最小値を表したものです。

表-1 ; バイオン中学校 1 年生男子

測定日 : 2018 年 1 月 18~19 日

年齢	人数	身長(cm)			体重(kg)			右視力			左視力			ローレス 平均	貧困 家庭数
		平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大		
11	11	136.0	127.0	143.0	28.8	25.9	33.4	1.5	1.2	2.0	1.7	1.2	2.0	114.7	2
12	29	143.4	124.0	163.2	34.6	23.3	50.9	1.5	0.7	2.0	1.5	0.9	2.0	116.0	3
13	27	144.3	126.6	163.6	34.9	22.1	50.9	1.6	0.7	2.0	1.6	0.5	2.0	114.6	2
14	18	148.6	128.1	163.0	37.5	28.3	46.9	1.7	1.0	2.0	1.6	1.2	2.0	114.0	4
15	7	161.3	150.1	171.3	48.3	39.5	53.9	1.7	1.0	2.0	1.8	1.2	2.0	115.1	0
16	11	159.2	143.0	169.2	45.8	29.7	57.8	1.9	1.5	2.0	1.7	1.0	2.0	112.3	2
17	3	160.5	159.9	161.0	49.4	48.2	50.6	1.8	1.5	2.0	1.0	0.8	1.2	119.6	0
合計	106														13

表-2 ; バイオン中学校 1 年生女子

年齢	人数	身長(cm)			体重(kg)			右視力			左視力			ローレス 平均	貧困 家庭数
		平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大		
11	7	138.2	130.0	145.3	32.0	26.0	41.7	1.6	1.0	2.0	1.6	0.9	2.0	120.4	1
12	39	144.9	126.0	166.0	35.3	22.5	47.6	1.6	1.0	2.0	1.7	1.2	2.0	115.8	3
13	20	147.5	131.0	158.2	38.9	24.4	52.6	1.7	1.0	2.0	1.7	1.0	2.0	120.6	6
14	15	147.4	119.5	157.0	40.8	19.3	51.6	1.6	1.0	2.0	1.6	1.0	2.0	125.7	3
15	3	151.5	143.0	158.0	45.3	42.7	47.8	1.5	1.5	1.5	1.8	1.5	2.0	131.7	0
16	3	151.1	150.0	152.0	41.7	37.0	48.4	1.6	1.2	2.0	1.4	1.2	1.5	121.0	1
17	2	159.4	156.0	162.8	52.7	52.1	53.3	1.4	1.2	1.5	1.1	1.0	1.2	130.6	0
合計	89														14

中学1年生(カンボジアでは7年生)の中でも年齢の分布は11歳から18歳まであり、年齢ごとにだんだんと身長・体重ともに成長していることが読み取れます。男女ともに年齢が低いほど最大値と最小値の差が大きいこともわかります。視力に関しては全体の平均としては日本のそれより良いですが、中には数人目が悪い子がいました。そうした子に対しては先生に報告し、席の並びなどの配慮をお願いしました。

今回は学童用のBMIであるローレス指数(Rohrer index)を計算しました。(計算式=体重(kg)÷身長(cm)³×10⁷)。日本肥満学会によると、110~160台であれば肥満ではなく、160以上で肥満、110以下で痩せぎみだと判定されます。もちろんこれは日本の体型での基準ですが、やはり平均を見てもバイオン中の生徒は比較的110~120台が多く、痩せ気味の子供が多いことがわかります。特に男子は女子より全体的に痩せ気味の傾向があります。

NPO 法人わかち・つむぎあいの皆様には7-A(1年A組49人)の血圧・脈拍・聴診を行っていただきました。(2018年2月9日実施)

その結果、学校で一番小さい14歳で119.5cm、19.3kgのロンペイちゃんが血圧上77、下35という低い数値で不整脈だということがわかりました。ただ、いま特に焦る必要はなく、経過を見守る必要があると診断していただきました。この子は上記「運動会を終えて」でコメントしているように、元気で明るく、しかもクラスで一番の成績を取っています。体が小さくても力強く何事にも挑戦すると先生からの評価も高いようです。

さらに今回、貧困家庭についても調査しました。この貧困家庭は家畜の数や収入などを鑑みて、各村ごとに村長から指定されるものです。一年生には貧困家庭と指定された生徒が27人在籍していました。その27名のうち11名(約40%)がローレス指数で110の数値を下回っていました。全体で見ると195人のうち約25%が110を下回っているため、やはり貧困家庭の子供と健康状態には少なからず相関関係があることがわかりました。しかし、今回の調査だけでは大きな相関関係があったとは言い難く、今後とも継続して身体測定を行ない、成長の経過を観察する必要性を強く感じました。

朝ごはんを食べてこない・食べることができない生徒もまだまだいますが、みんなバイオン中学校で元気に学んでいます。そうした学業・スポーツを支える健康の維持・管理を学校・JST・支援者の皆様でうまく連携を取りながら行なっていけたらと思っております。今後ともバイオン中学校をよろしくお願い致します。



Newsletter

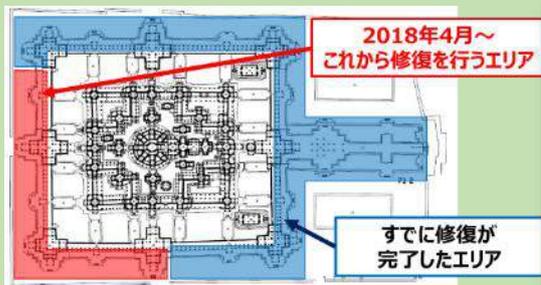
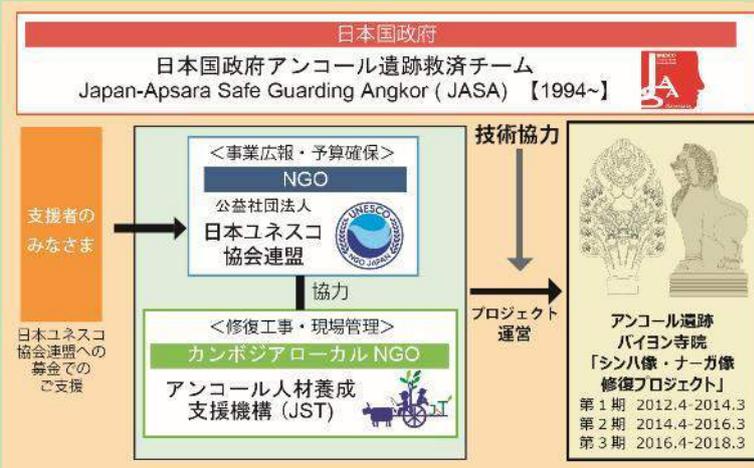
ご存知でしたか??
JSTでは修復事業も
行っているんです!

アンコール遺跡 バイオン寺院
ナーガ・シンハ彫像
および欄干
修復プロジェクト

Vol.1 修復事業 6年目がまもなく終了!



バイオン寺院は 20 世紀初頭に一度はフランス極東学院による修復を受けているものの、その後の内戦や樹木などの影響で新たに崩落した箇所も少なくなく、現在も劣化や崩落が目立ちます。特にバイオン寺院を訪れる観光客が必ず最初に目にし、そのすぐ脇を通ることになる外回廊や参道のナーガ、シンハ彫像や欄干が崩落したままでは、安全性や景観上大きな問題があり、また崩落したままの部材を放置しておくことは寺院のさらなる劣化を招く危険がありました。そこで JST では 2012 年より日本国政府アンコール遺跡救済チーム（以下 JASA）の技術協力のもと、日本ユネスコ協会連盟との共同事業としてこれらの彫像や欄干の修復プロジェクトを開始することにしました。これまでの 6 年間で外回廊、参道全体のうちおよそ 3 分の 2 の修復を終えることができ、これまで修復してきた彫像の数はナーガ彫像が 31 体、シンハ彫像は 14 体にのぼります。



カンボジア人からカンボジア人へ!

このプロジェクトのもう一つの大きな目的は、カンボジアの遺跡保存を担うことのできる新たなカンボジア人技能員・専門家を育成することです。20 年にわたる JASA の活動の中で育まれた人材育成の輪の集大成として、「カンボジア人からカンボジア人へ」の技術移転をめざし、部材修理の方法、図面の書き方、重機の操作、再構築の技術など、日々指導が行われてきました。そして現在、当プロジェクトのメンバー専門家 1 名と技能員 8 名は 2018 年 4 月より 7 年目を迎えますが、大きく成長し、ほぼ自立して彫像や欄干の修復を行えるようになってきました。



バイオン寺院を訪ねる機会がありましたら、ぜひ、修復の成果をご覧ください! 修復現場ご案内ツアーも実施しています。詳しくは info@jst-cambodia.net まで!